

ユニオン世界会議に総裁秋篠宮妃殿下が御臨席

ユニオン開会式には日本より秋篠宮妃殿下、開催国オランダよりマルフリート王女殿下が御臨席になりました。妃殿下の初の単独海外訪問ということもあり、会場では日本の報道機関による取材も多く見られました。



秋篠宮妃殿下とマルフリート王女殿下（写真中央）
（提供：The Union）

世界賞を授与

25日には秋篠宮妃殿下の御臨席を仰ぎ、秩父宮妃記念結核予防世界賞授賞式が行われました。秋篠宮妃殿下から、世界賞受賞者に表彰状が授与されました（詳細は本誌 秩父宮妃記念授賞式を参照）。

ユニオン名誉会員となる

26日にはユニオン総会が開かれ、秋篠宮妃殿下の長年にわたる結核予防活動への功績を称え、ユニオ

ンの選考委員長であるJane Carter氏と、会長のJeremiah Chakaya Muhwa氏より名誉会員の称号が贈られました（詳細は本誌 総裁ご動静を参照）。

国際研修卒業生等懇談会にご臨席

26日の総会終了後には、秋篠宮妃殿下ご臨席のもと、国際研修卒業生等懇談会が開かれました。

今年は完全招待制で行われ、猪俣大使にもご参加いただき、国際研修卒業生7カ国7名（日本含む）、世界賞受賞者7名、発表者として学会に参加したザンビア事務所スタッフ、他関係者計39名が一堂に集まりました。

【番外編】シールコンテストについて

また例年通り、クリスマスシールコンテストも開催されました。会期中は各国のシールが展示され、総会にて投票結果が発表となりました。今年は9カ国（香港・インド・日本・マレーシア・韓国・シンガポール・台湾・タイ・フィリピン）がエントリーし、日本は惜しくも入賞を逃しましたが、1位インド・2位韓国・3位香港が受賞しました。🐼



秋篠宮妃殿下と国際研修卒業生等懇談会参加者